

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覽表② (平成29年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	A	A	A	「三兎を追う」年度目標のもと、学習・部活動・特別活動の充実を図った。	様々な取り組みがなされており、生徒たちも生き生きと活動している様子が見て取れる。	基本方針を堅持しつつ、それぞれの「兎」を充実するため、具体策を立案・実行する。
		② 「総合的な学習の時間」における活動を通じて自らテーマを見つけ、解決していく探究力が身についたと感じる生徒が80%以上である。	A	A	A	担当者、学年の工夫と努力により、従来代表者数名による最終発表であったものが、ポスターセッションにより代表を50名とする改善が図られた。	前橋高校の「総合的な学習の時間」は今後重視されることになっている探究学習を先取りする内容と言える。更に充実してもらえるとよいと思う。	今後一層重視される探究活動に対し、テーマの選び方や、内容の充実といった個人活動に関して指導したい。
		③ Oxbridge研修やその報告会などのグローバル教育を通じて、グローバル社会での生き方や異文化に対する理解が進んだ生徒が80%以上である。	B	B	B	Oxbridge研修参加者は、直接に間接に様々な面で本校生徒の模範となった。	Oxbridge研修は前高生に大きな意識改革をもたらしている様子が報告書からも窺える。できればもっと多くの生徒が参加できるとよいのだが。	効果の高い行事であるが、直接参加できる生徒が少ない。国内外に様々なグローバル研修の機会を用意したい。
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 65分を有効に活用し、授業に80%以上の生徒が満足している。	A	A	A	I C Tの活用、A L型授業の導入共、年々充実してきているが、まだ充分ではない。	授業を見ると、生徒の学習意欲が高く、教師もそれに応える見識、技術、熱意を持っていることがわかる。	授業観察のフィードバックを厳正に行うと共に、教員間の相互啓発の手立てを考えたい。また、教科内研修の充実も図りたい。
		3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	① 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上実施している。	C	B	B	必要な研修は実施されたが、必ずしも充分ではなかった。	授業改善については、これでよいということはないので、研修等を通じ、不届の改善努力をお願いしたい。
	4 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	② 英語等によるコミュニケーション能力が身につけてきていると感じる生徒が90%以上である。	A	A	A	文科省の指定も利用し、教科として一体感のある改善に取り組めた。	英語は前高生の場合、本人が思っている以上に将来重要になってくる。評価は良いが、更なる高みをめざしてもらいたい。	大学入試改革において、最も注目度の高い教科である。引き続き本県英語教育の牽引役を担う自覚のもと、様々な実践に取り組みたい。
		① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	C	C	C	家庭に対して注意喚起をしたり、朝学習や放課後学習を促したりしたが、充てな効果を上げられなかった。	家庭学習は昔からの課題であるがなかなか特効薬はない。ただ、これなくして進路実現はおぼつかないなので、工夫・指導をお願いしたい。	受動的学習態度から主体的学習態度への転換を導くため、各人のスケジュール管理を指導したい。
III 生徒の充実した学校生活について、適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に2回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	B	B	-	各会議において所属教職員の高い責任感を看取できる。	昔の前高生と比べると、しっかりした指導が入っている印象を受ける。	縦横の連携を意識し、各会議を有機的に機能させることによってさらに効果を発揮できるよう取り組みたい。
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。	A	A	A	生徒指導部の声かけ指導、学年の声かけ指導、担任の指導により遅刻者は少ない。	この項目についても、以前と比べ大きく改善しているという印象を受ける。
	7 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	A	A	A	生徒指導部や特活部を中心に必要な取組が行われている。	学習態度、挨拶、服装等、規律正しくまじめである。	挨拶や規律遵守の重要性については進路的アプローチという側面からも指導したい。
		① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合3位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。	A	A	A	学校全体として意欲が高く、主体的な活動が好結果を導いたと思われる。	県総体総合優勝、関東大会以上の出場9部は立派である。	県総体総合優勝をモチベーションとして成果を継続させたい。
		② 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	各部活動共、顧問が責任感を持って熱心に指導した。	部活動への加入率116%、実績も上がっており、生徒が充実した高校生活を送っているようすがわかる。	活動の充実のため、計画の充実も求めたい。
	8 いじめ防止等の対策が適切に講じられていますか。	③ 定期戦及び文化祭をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、自主的・主体的に取り組めた生徒が80%以上である。	B	B	B	特活部を中心に、気運の醸成から事後指導までを一貫して行った。	拝見した文化祭はたいへんな活況で、生徒も活動的であった。印象としては評価Aである。	一部の消極的な生徒を見過ごさず、行事の重要性を理解させる必要がある。
		① 本校の「スマホ利用ルール」を理解し、それに従った生活ができている生徒が90%以上である。	B	B	B	ホームルームや学年集会、講話等を通じ、様々な機会に指導を加えたが、スマホに振り回されているものも多い。	いじめ問題とスマホは密接な関連がある。90%と言わず100%を目指してほしい。	この問題については、理解・納得させて、本人が主体的にコントロールできるような指導が必要である。
	9 読書指導が行われていますか。	② いじめの事実が隠蔽されず、実態把握やいじめにたいする措置、また、いじめ防止等の対策を適切かつ組織的に言い、いじめのない学校を目指す。	A	A	A	アンケートを主たる手段として実態把握を行った後、組織的な対応を行うことができた。	いじめ問題に対する組織的な対応がなされているようである。未熟さが主たる原因であるいじめは本校では少ないと思うが、油断は禁物である。	定例的な対処以外にも、アンテナを高く張り、臨機に迅速な対応が取れるよう努める。
① 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。		B	A	A	出張図書館など新たな方策も実施し、目標を達成できた。	若年層の読書離れが問題になっている。読書指導の充実をお願いしたい。	数値目標にとどまらず、「読書離れ」という根本的な課題に立ち向かいたい。	
IV 生徒の主体的	10 計画的な指導を行っている	① 進路に関するLHRを各学年で年に1	A	A	A	計画的に時宜を得た必要なLHRを実	充実した進路指導が行われている様子	前例踏襲でなく、大学入試改革を見

な進路選択について、適切な指導をしていますか。	いますか。	0回以上実施している。				施できた。	が窺える。	据えた計画を毎年見直す。
		② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	A	A	A	完成度の高い資料を示すことができている。	親は学校からの情報が頼りである。一層の充実を望む。	課題は、情報を生徒にいかに関活用させるかである。現状は生徒の情報活用力が不十分である。
	11 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	未	未	未	今年度の結果は未確定であるが、大学合格率は80%前後で安定している。ただし進学率は70%を下回って久しく、今年度も同様の状況である。近年、本校の生徒には納得度の高い進路選択を指導しており、その結果浪人生が多くなっている。特効薬はないが、地道に実力養成を図って行く。	本校の進路指導は、信頼に足るものと認識しているが、今後はキャリア教育の視点を強化し、より納得度の高い進路指導をお願いしたい。	問題は、高校の三年間で生徒の望む学力をつけることである。大きな課題である。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	① 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	B	B	B	年々改善を加え、充実したHPになってきたが、職員のHPへの意識に差があるため、統一感に欠ける。	HPの更新は概ねタイムリーに行われていると思うが、知りたい情報が得られないこともある。	情報発信の意識、広報への意識を全職員に対して高める努力が必要である。
		② 「学校案内」を充実・改訂し、本校の魅力をアピールする。	A	A	A	特別委員会を中心に所期の目標を達成できた。	徐々に「学校案内」が改訂され、見応えのあるものになった。	改訂への意識を高く保持したい。
	13 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	①保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	B	B	B	必要最小限の実施にとどまった。	前高はOBも多士済々であるし、外部人材を大いに活用するとよい。	キャリア教育の観点からも、可能な限り数多く実施したい。
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	14 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、自転車事故15件以下を目指して指導する。	C	C	C	ホームルームでの指導、全体での指導、通学路での声かけ指導等思いつく限り行っているが、改善に至らない。	今年度は痛ましい高校生の自転車事故、被害もあった。あくまで0件を目指し、安全教育を行ってほしい。	生徒自らが自他の命を大切に思い、そのためにどのような行動を取る必要があるのかを考えさせたい。
	15 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 毎月安全点検を実施する。また、年2回、防災避難訓練を行う。	B	A	A	安全点検は滞りなく実施でき、かつ必要な手立てを講じられた。防災訓練は工夫した内容で実施できた。	生徒の安全環境整備のための工夫と努力を引き続きお願いしたい。	生徒の安全を守る意識を共有し、その都度新たな工夫を盛り込みたい。
	16 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	B	A	A	保健委員会を中心に適宜情報発信を行った。	外からは見えづらいところであるが、心の健康についても取り組んでいただいていると聞き嬉しく思う。	情報に気を配り、早め早めの対応を心掛けたい。